

きません。通常なら0αのウキの場合、馴染むとゆつくり沈んでくれるのですが、ズーと浮いています。おそらく、背中からの北東の風にラインが取られているのと、ウキが上すべりして、沖側に流されているために、仕掛けが沈んでいないと推測できます。

そこで、3Bのウキに変えて、ウキ止めを竿1本半の所に付けて、再スタート。一投目、エサが付いて来たので、オモリの3Bのガン玉にG2のジントンを追加して、仕掛けが馴染んだらゆつくり入って行くようにしました。すると、ウキが見えなくなる時に糸が走るアタリがあり、上がって来たのはハマフエフキの25cm位でした。それからは、ひたすらにハマフエフ

キが釣れ続けました。その間も、アッチコッチ釣って、その度に、マキエサを5〜6杯ずつ入れ続けました。潮が動かない時はこの方法で、マキエサを足元、沖、左、右に何回も入れ続けて、どこかアタる所を探していくのが良いのではと考えます。

すると、左沖でバチバチと本命らしきアタリ。ゆつくりやり取りをして、上がって来たのは40cm程のやせ型のイサキでした、やつとです。釣り始めから2時間以上、マキエサをアッチコッチ入れ続けて、何となくポイントが分かり出して来ました。



こうなると後はマダイ狙い。タナを1本半から2本と深くして、イサキのポイントよりも5m以上遠投して、マキエサを多めに広く打ち込みます。すると、またバチバチと指をは

じかれ、「イサキか?」と思つてみると、かわいい小型のマダイ。ヤッター!。狙って釣ったマダイです。サイズはともかく嬉しい1匹です。

その後も狙ってみますが、どうやらエサ盗りが活発になってきたのか、エサが残っていません。とりあえずエサが残るまで1ヒ口位ずつ浅くしていきます。竿2本半のタナから竿2本、そして竿1本半まで浅くして、やつとエサが付いて返って来ます。

ここでG2のジントンをG3に変えて、ウキがギリギリに浮いている様にセットして、竿1本半のタナをじっくり狙うと、ハマフエ、そしてキタマクラ、スズメダイが釣れます。やはりエサ盗りが竿1本半位のタナで元気になっているようです。

沖のエサ盗りを

手前に誘導

そこで、足元のマキエサはその

ままで、沖で釣れているエサ盗りを少し手前に呼び込む作戦です。足元にマキエサを2杯。沖のエサ盗り用に5〜6杯。そしてイサキ用を更に沖に1杯だけ入れ続けて様子を見ると、エサが付いて帰って来ます。沖のエサ盗りを完全に足元にイサキ用の真ん中に集めて、G3のジ

ントンをもう一度G2に変えて、仕掛けが馴染んだらゆつくり入って行くようにセットし直します。すると久々のイサキ。しかも40cmは優に超えています。これから連続で型揃いのイサキです。今回の実釣で思ったのは、狙って釣るイサキ、マダイは本当に面白いものです。クロの仕掛けにイサキが喰つて来ると、ラッキーと思うし、逆にイサキの仕掛けにクロが喰つてくると、「何で?」と、思ってしまう位に私はイサキが好きです。たぶん他の人はしないとありますが、その時は、クロが喰わない仕掛けにどんどん変えていきます。例えば、オモリのガン玉やジントンをハリ側に下げると

か、エサを大きくしたり、ハリも大

堀之内さんに
オオモンハタ!!



きくしたりして、クロが嫌う仕掛けを作ります。

マダイも今回は小型が1匹だけでしたが、ひと潮毎に型の良いマダイが接確して来ると思いますが、今後期待大です。

また、エサ盗りが活発になる前に深釣りをしたいものです。エサ盗りが活発になると、どこでエサを盗られたかが分からなくなります。

皆さんも是非、この3月、4月にクロ、イサキ、マダイの三種盛りにチャレンジしてみてください。メインはクロでも、クロが釣れない時に、イサキ、マダイを釣って帰ると家族が喜びますヨ。頑張ってみてください。面白いですよ!